

科目名	ME2種講座						授業の種類	演習	必修・選択		必修
授業回数	15	回	時間数	30	時間	2	単位	配当学年時期	2年	前期	
【授業の目的・ねらい】 臨床工学技士国家試験に合格するためには、基礎科目を身につけることが重要であり、特に1年次に学んだ電気工学、電子工学、情報処理工学の内容を使いこなすことができることが必須とも言える。ME2種検定試験に挑戦することで自己の現状を見つめつつ、計画的に学習を進める事ができるようになることを目的とする。											
【実務者経験】											
【授業全体の内容の概要】 模擬試験演習を中心に進める。 午前問題と午後問題を分けながら学習を進め、適宜模擬試験を実施する。 間違えた問題の解説集を自分で作成し、同じ問題を間違えることが無くなるように自己学習を繰り返す。											
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 ・ME2種技術実力検定試験に合格できる ・計画的に学習をすすめることができるようになる											
回数	講義内容										準備物(教材)
1	ME2種模擬試験(午前問題)に挑戦し、自己の現状を確認する										
2	ME2種模擬試験(午後問題)に挑戦し、自己の現状を確認する										
3	模試の結果を省みて、学習計画を再考する										
4	行動習慣を省みて、短期間のPDCAを再設定する										
5	ME2種模擬試験を分析し、自己課題を発見し解決方法を設定できる①										
6	ME2種模擬試験を分析し、自己課題を発見し解決方法を設定できる②										
7	定期試験とME2種試験への準備状況を確認する										
8	模擬試験①										
9	模擬試験②										
10	模擬試験の振り返りと苦手克服										
11	模擬試験の振り返りと苦手克服										
12	模擬試験③										
13	模擬試験④										
14	得意分野を伸ばす学習に取り組む										
15	苦手分野を克服する学習に取り組む										
定期筆記試験											
【使用教科書・教材・参考書】 ・配布資料											
【準備学習・時間外学習】 ・模試の演習を中心とした講座であるため、事前に過去問題を十分に解いて授業に臨むこと ・授業後は間違えた問題に対する復習を入念に実施し、特に苦手分野の克服に計画的に取り組むこと											
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する 小テストを50点、課題の評価を50点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する											